



七ヶ宿中学校

# 望湖克己学館だより

【学校教育目標】 「社会をつくり、たくましく生き抜く生徒の育成」

## 冬季休業後集会 ～校長講話「将来の仕事について」喜ばれる・感謝されるを考えて～

新年早々に、令和6年能登半島地震、羽田空港での航空機衝突などの災害や事故がありました。被害に遭った人々のことを想像すると、いたたまれなくなります。まずは、お悔やみと、お見舞いの気持ちを示したいと思います。

さて、冬休み前の集会で、相手の立場に立って想像してみることで、ハラスメントやいじめを無くすことにつながるという話をし、そして、相手が不快に思っていないかを想像することから一歩進んで、相手が喜ぶこと、相手の役に立つこと、感謝されることを想像しすぐにしてあげられるならば、してみよう。という話もしました。今日は、相手の役に立つこと、感謝されることが将来の仕事につながるという話をします。そもそも、こんな話をするきっかけになったのが、18歳の意識調査というもので、日本では「なりたい職業について『自分は何がしたいのか』という問いに『特にない』と答える割合が、他国に比べて高い」というデータを見たからです。

こんな言葉を知っていますか？「世に生を得(う)るは、事を為すにあり」とあります。坂本龍馬の言葉だと言われていますが、どんな意味でしょうか。(あなたがこの世に生を受けたのは、あなたしかできない事をするためである)自分が生まれ、育てられた意味に気づき、事を為す時に、自分の周りの人や、思い描く誰かの「喜ぶこと、感謝すること、役に立つこと」に貢献できるならば、素晴らしいことです。幕末の日本では、そんな気概もあったのでしょうか。

ただ…今現在の子供として守られている状況は、とても幸せなので、それが当たり前で、いつまでも続くと思っただけで…、何かをしようとか、変えようとか、しなければならない…と思うことは少ないのではないのでしょうか。

しかし、そのままではダメなのです。ずっと学生ではないのです。今の自分が、その状況に当てはまっているのならば、変えていかなくてはならないのです。(被災地や戦地に暮らす人々ならどうでしょうか…目標や行動は環境に大きく左右されます)

最初から自分のためだと思って行動するのもありますが、まずは周囲の共感や協力を得られて持続できるような他人のために何かをすることを考えてみてはどうでしょうか。最終的には自分のためになるはずなので。そうしていくうちに今はまだ力がなくても、身近な誰かを喜ばせ、役に立ち、感謝されることを考えて実行する努力を続けられれば、将来より多くの人々に喜ばれ、感謝され、役立つ人になるのではないのでしょうか。

年始にあたって、このことを踏まえて目標を設定し、日々の努力を重ねていきましょう。将来、皆さんのなりたのものや、やりたいことが、誰かを幸せにする手段となっていることを楽しみにしています。



## 今野太陽さん、県中総体GSL第1位 2年連続スキー全国大会へ!

1月13日(土)・14日(日)、宮城県中学校総合体育大会スキー競技大会が、雪不足のため当初予定されていたオニコウベスキー場から山形県大蔵村の湯ノ台スキー場に会場を変更して行われました。

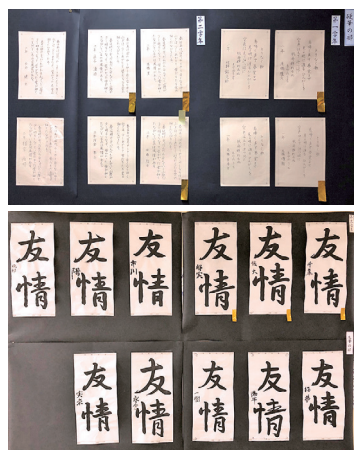
本校からはアルペン競技に今野太陽さん(3年)の1名が参加。1日目GSLでは切れ味が鋭いターンと力強い滑りで、見事第1位に輝きました。翌2日目のSLでも第5位に入賞し、GSL、SLの両種目で全国大会出場の内切符を手に入れました。

今年は雪不足のため、例年とは違う会場での大会開催で戸惑いもあったと思いますが、自分の力を信じて滑走している姿に大変感動しました。大変お疲れさまでした。



## 2024年書き初め! ～毛筆・硬筆を頑張りました～

冬休みの宿題でもあった毛筆や硬筆の作品を校舎内に掲示しました。書き初めは、日本の伝統的な正月行事の一つです。指定された課題の文字をよく確認し、文字の形やバランスをよく観察し、できるだけ見本に近づけるよう、どの作品も丁寧に一生懸命取り組みました。



七ヶ宿小学校 学校だより

# 七つの里

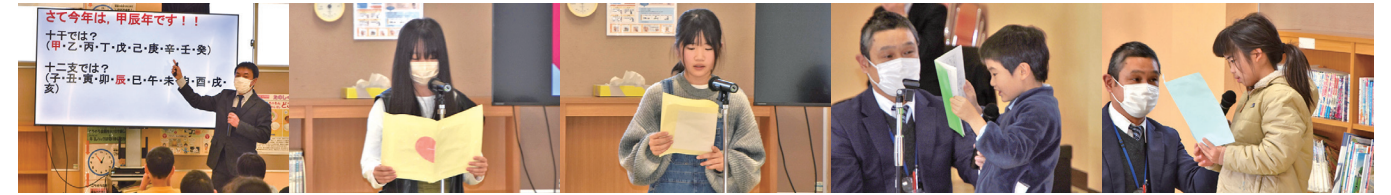
【学校教育目標】 かしこく、やさしく、たくましい児童の育成

## 新しいことに挑戦しよう!

令和6年1月9日に冬休み明け集会を行いました。初めに校長先生が、今年の干支・辰年の話をしました。「成功するために大切なことは、無理だと思わないことです。無理だと思ったらそこで終わりになります。ですから、辰(竜)が天に昇るように、みんなも新しいことに挑戦することで成功する年にしていきたいと思います。2024年が素晴らしい年になるよう、どんどん挑戦しよう!」と、児童へ力強く語りかけました。

児童代表の言葉では、高橋ななさんと佐野天音さんが、新年の抱負を発表しました。また、冬休み直前の集会では、大和明楠さんと北城ゆりあさんが、学校生活で頑張ったことなどを発表しました。4人とも、これまでの取組を振り返り、さらに自分が挑戦することを立派に発表することができました。

七ヶ宿小学校は順調に2024年のスタートを切ることができました。児童そして保護者の皆様にとって幸多い1年になるよう、今後の教育活動を推進して参ります。引き続き御協力、よろしくお願いいたします。



## お弁当上手にできたかな?

1月15日(月)に実施した「チャレンジ弁当づくり」は、七ヶ宿小学校ならではの食育の行事です。弁当づくりを通して、食に関心を持つことがねらいです。どんなお弁当にするか冬休みに各家庭で計画し、自分のできることに取り組みました。一人一人が弁当づくりに関わったことで、当日はいつも以上においしそうに食事をしていました。各家庭でも食を見直す機会になったことと思います。保護者の皆様には、準備等の御協力をいただき、大変ありがとうございました。



## いじめ防止標語コンテストに作品応募しました。

このコンテストは、宮城県PTA連合会も共催者になっている「いじめ防止標語コンテスト実行委員会」が毎年主催しています。12月に標語をつくり、全児童分を応募しました。この取組を活用しながら、思いやりのある温かい人間関係づくりに役立てていきたいと考えております。校内コンテストの結果、各学年部の最多得票標語は次のとおりです。

- ・庄子心都さん「だいじょうぶ いじめをされても だれかが見てくれる」
- ・高橋芽依さん「いじめなし 笑顔いっぱい にっこにこ」
- ・高橋ななさん「空の下 みんな笑える 学校に」

今後、全作品を校内に掲示し、いじめ根絶啓発に役立てます。